



MINISTRY OF NATURAL RESOURCES
AND ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY



Ministry of the Environment



日本・マレーシア環境ウィーク プログラム



2025年10月15日-17日



igem

INTERNATIONAL GREENTECH & ECO PRODUCTS
EXHIBITION & CONFERENCE MALAYSIA



目的・参加者

日本・マレーシア環境ウィークは、日本・マレーシア間の環境および関連課題に対する理解を促進し、グリーンビジネスの成長における協力の可能性を見出すことで、脱炭素で強靱な社会の構築に寄与することを目的としています。

ハイレベルの基調講演やパネルディスカッション、企業を主体としたセミナーや、ビジネスピッチに現地参加する他、オンラインでの参加も可能です。マレーシア政府と日本政府、地方自治体、民間部門、研究・学術機関、国際・地域機関、NGOなど、多様なステークホルダーから3日間で600名を超える参加者が見込まれています。

全体プログラム

10月15日（水）		10月16日（木）		10月17日（金）	
9:00	ネットワーキング コーヒータイム	9:00	ネットワーキング コーヒータイム	9:00	ネットワーキング コーヒータイム
10:00	セッション1 10:00 - 11:40	10:00	セッション3 10:00 - 11:30	10:00	セッション5 9:00 - 11:00
11:00	Cleaner Energy Future Initiative for ASEAN (CEFIA)	11:00	水・廃棄物汚染対策	11:00	気候変動 緩和（JCM）と適応
12:00	ビジネスピッチセッション 11:40 - 12:30	12:00	ネットワーキングランチ 11:30 - 13:00	12:00	休憩
13:00	ネットワーキングランチ 12:30 - 14:00	13:00	ハイレベル・プレナリー セッション 13:00 - 15:00	12:00	セッション6 11:20 - 13:00
14:00	セッション2 14:00 - 16:30	14:00	休憩	12:00	再生材の未来。廃棄物から高付 加価値材への日ASEAN企業連携
15:00	資源循環の促進 ー使用済み自動車（ELV）と バッテリーの循環型経済 への展開ー	15:00	セッション4 15:30 - 17:00	13:00	
16:00		16:00	PaSTI - 企業によるGHG算定・報告 -	14:00	
	日本パビリオンにおける企業展示		日本パビリオンにおける企業展示		日本パビリオンにおける企業展示

* プログラムは予告なく変更される場合がございます。

ビジネスピッチ登壇者

ビジネスを通じて持続可能な社会を実現するための、最先端且つ信頼のできる、包括的なソリューションをお探しですか？テーマ別ビジネスピッチの登壇者達によるプレゼンテーションをお見逃しなく！

プレゼンテーションのフォローアップは、ビジネス交流エリアや1階に位置する展示エリアでご質問・相談いただけます。パートナー企業との出会いや、サステナブルな計画の実行に繋がる絶好の機会です。

10月15日：環境ウィークビジネスピッチ

アズビルマレーシア
株式会社

Wei Lun Chang
ビルディングオートメーション
事業部・次長



国際機関
日本アセアンセンター

Julius Tan Gonzales
Programme Associate, Research and
Policy Advocacy Team



株式会社SDGインパクト
ジャパン

広瀬 大地
パートナー



環境インフラ海外展開
プラットフォーム(JPRSI)

高木 晴乃
プロジェクトアソシエイト



株式会社建設技術研究所

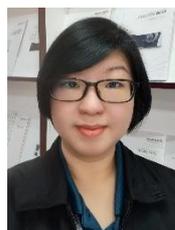
井上 康
主幹



10月16日：水・廃棄物汚染対策

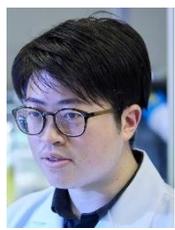
島津マレーシア

Mei Hui, Jau
シニアマーケティングマ
ネージャー



株式会社イノカノ
イノカアジア

小藪 大臣
研究員



横浜ウォーター株式会社

長谷川 浩市
取締役 上下水道部
部長



ビジネスピッチ登壇者

10月16日：水・廃棄物汚染管理

アマタホールディングス株式会社

金本 裕司
プロセスアンドプロダクト
マネージャー



株式会社BIOTECHWORKS-H2

仁谷 美喜
取締役



JFEエンジニアリング株式会社

深井 一
環境本部 開発センター長



株式会社PNH / 株式会社PNH Malaysia

Lee Jian Tat
マレーシア支部代表取
締役



10月17日：気候変動緩和(JCM)と適応

三菱電機株式会社

山本 和矢
マネージャー



株式会社地圏環境テクノロジー

田原 康博
代表取締役社長



SPACECOOL株式会社

木嶋 優斗
海外事業開発
マネージャー



AGC 株式会社

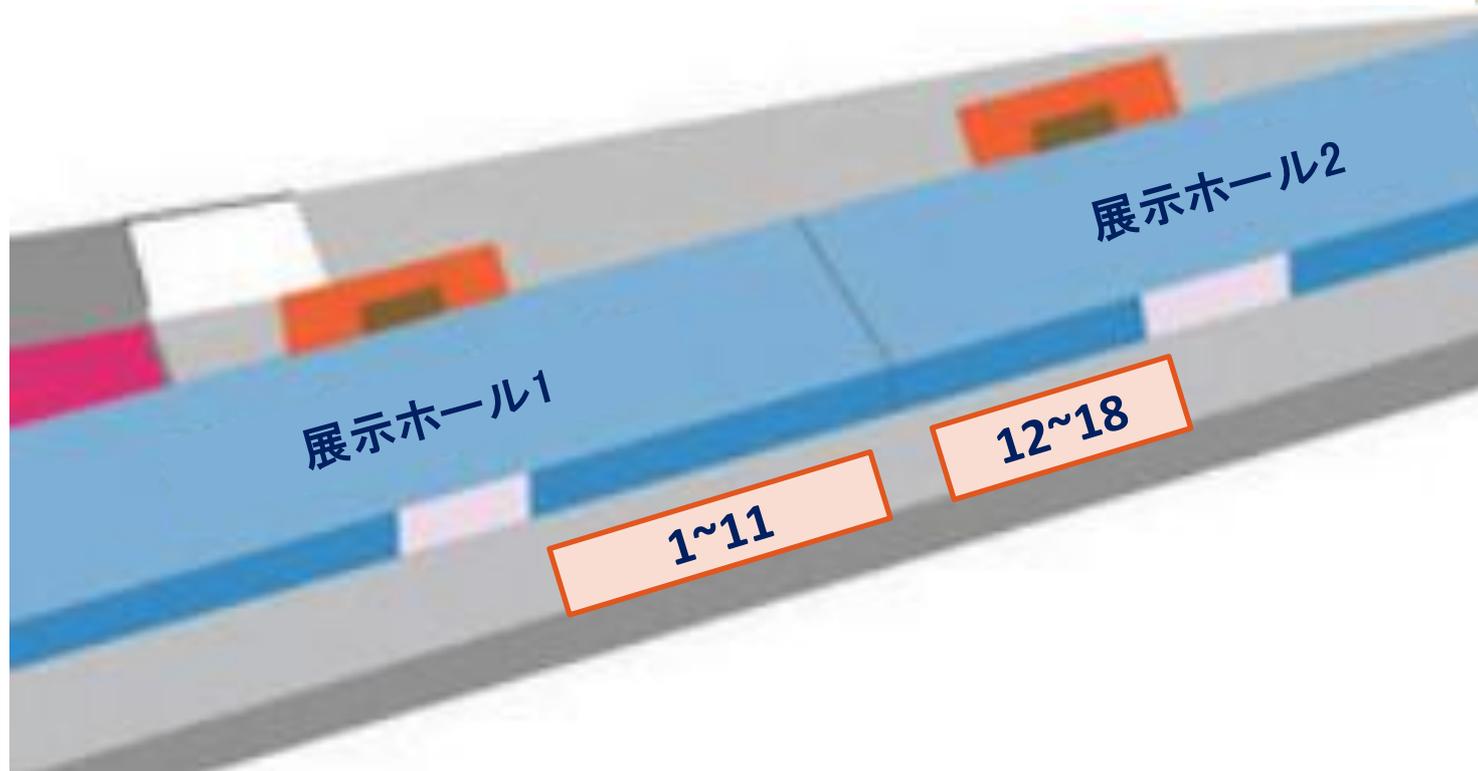
Ang David
マネージャー
スマートガラス



展示ブース配置図

1階 展示ホール1 / 2
ホワイエ

気候変動(緩和・適応)、廃棄物管理・リサイクル、大気・水質汚染対策、クリーンエネルギー、スマートシティ、水銀、海洋プラスチックごみ、水素技術、ESG投資・金融・保険に関連する環境技術とソリューションを一挙にご紹介。これらの分野における研究やコンサルティング、課題解決のための提案、先進的な環境技術を展開する企業・団体が出展します。



1	ダイハツ工業株式会社
2	三菱電機株式会社
3	株式会社SDGインパクトジャパン
4	SPACECOOL株式会社
5	カナデビア株式会社
6	株式会社PNH / 株式会社PNH Malaysia
7	株式会社BIOTECHWORKS-H2
8	福島県
9	環境インフラ海外展開プラットフォーム (JPRSI)

10	独立行政法人国際協力機構 (JICA)
11	国際機関日本アセアンセンター
12	株式会社地圏環境テクノロジー
13	株式会社ゼロボード
14	島津マレーシア
15	株式会社建設技術研究所
16	AGC 株式会社
17	JFEエンジニアリング株式会社、J&T環境株式会社
18	WOTA株式会社

セッション概要

10月15日(水)

セッション1 The Cleaner Energy Future Initiative for ASEAN (CEFIA)

CEFIA は、ASEAN地域におけるクリーンエネルギー・脱炭素技術の普及を目指す官民イニシアティブです。経済産業省(METI)の協力のもと、本セッションでは、マレーシアにおける ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル) および 水素・アンモニア技術の可能性に焦点を当てます。

急速な都市化に伴いエネルギー需要が増加するマレーシアでは、建築分野での省エネ強化が大きな課題となっています。同時に、エネルギー源の多様化や脱炭素の実現も国家的な優先事項です。ZEBは都市開発におけるエネルギー消費の削減に貢献し、水素やアンモニアは次世代のクリーン燃料としてエネルギー転換を支える有力な選択肢となります。

日本企業の先進技術を紹介するとともに、マレーシアの関係者との協力の可能性を探り、持続可能なエネルギーの未来に向けた取組を加速させていきます。

セッション2 資源循環の促進—使用済み自動車(ELV)とバッテリーの循環型経済への展開

電気・電子機器廃棄物(e-waste)及び重要鉱物に関する日ASEAN資源循環パートナーシップ(ARCPEC)の下、ASEAN諸国における電子機器、自動車、その他関連するサプライチェーンの循環性を高めることに合意したことを受け、廃棄物の適正管理や国際協力を通じた循環型経済への移行が期待されています。マレーシアの急速な経済成長とカーボンニュートラルへの移行における持続可能性を実現するために、本セッションでは、バッテリーを含む使用済み自動車(ELV)に関するマレーシアと日本の事業実践を紹介し、専門家の知見を交えながら循環型経済への移行に向けた官民連携の可能性を探ります。

10月16日(木)

セッション3 水・廃棄物汚染対策

マレーシアの経済が急速に成長する中で、産業用および家庭用の排水処理施設や廃棄物管理インフラの整備が、その成長に十分に追いついていません。本セッションでは、水質および廃棄物に関する汚染対策を改善するための技術やビジネスモデルを紹介します。革新的なリサイクル技術や資源回収の取組を紹介するとともに、循環型経済の実現に向けて、モニタリングや法令遵守を支援するデジタルソリューションの活用、そして持続可能な廃棄物管理のための廃棄物発電技術の導入についても取り上げます。水管理については、分散型水処理システム、産業用水処理システム、高度な水浄化技術に焦点を当てます。

セッション概要

10月16日(木)

ハイレベル・プレナリーセッション

かつて災害で壊滅的な被害を受けた福島県が、地域活性化を通じて統合的な脱炭素化のモデルケースとして、また地域再生都市としてどのように再生しつつあるかを探ります。「脱炭素・復興プラットフォーム」と先駆的な地域イニシアチブを参考に、コミュニティレベルでのグリーントランスフォーメーションに向けたマレーシアと日本の協力を促進することを目的とします。両国の若者、企業、地域関係者が一堂に会し、知見を交換するとともに、協力に向けた実践的な道筋を探ります。

セッション4 PaSTI - 企業によるGHG算定・報告-

上場企業だけでなく非上場企業も巻き込みながら、社会全体がカーボンニュートラル社会へと移行する可能性に焦点を当てます。規制要件を超えて、先進的な企業は温室効果ガス(GHG)排出量の算定と開示を始めており、そのデータは、企業間取引におけるスコープ3排出量の評価、ESG関連の投資判断、そして一般市民によって活用されるようになってきています。マレーシアでは現在、施設単位でのGHG排出量報告制度の構築を進めており、排出量取引制度の導入も模索しています。民間企業、業界団体、金融機関、政府関係者などの専門家とともに、GHG排出量のMRV(算定・報告・検証)の必要性について議論し、将来的なマレーシアにおけるカーボンプライシングの円滑な導入方法を検討します。

10月17日(金)

セッション5 気候変動緩和(JCM)と適応

マレーシアと日本の政策立案者およびビジネスコミュニティが一堂に会し、パリ協定に沿った政策や施策の実施状況を共有するとともに、マレーシアで提供されている技術的ソリューションを紹介する唯一無二のセッションです。本セッションでは、2つのパネルディスカッションが設けられており、1)政策手段、脱炭素技術、カーボンクレジットの役割、野心の引き上げ方策に関する専門家による意見交換、2)地域の関与/ステークホルダーエンゲージメント、影響評価、プロジェクト形成、適応に向けたビジネスモデル、に焦点を当てます。

ネットゼロの実現や適応行動に向けた相乗効果や国際的パートナーシップの役割についても議論されます。

セッション6 再生材の未来。廃棄物から高付加価値材への日ASEAN企業連携

国際機関日本アセアンセンター主催のセミナーです。廃棄物問題の解決策と需要増加が見込まれる再生材の最新トレンドについて、日本およびASEANの企業が意見を交わします。

Cleaner Energy Future Initiative for ASEAN (CEFIA)

司会:
TBA

オープニング

オープニング/イントロダクション

Hiroyuki Mitsui, 経済産業省

日本企業のZEB技術についての紹介

ガラスによる建物の省エネルギーの性能向上について

David Ang 建築ガラスアジアカンパニー アジア事業本部 マネージャー
AGC 株式会社

ビル、工場のエネルギー最適化制御

橋本 圭司 マネージングディレクター
アズビルマレーシア株式会社

質疑応答

水素・アンモニア技術の紹介

ENEOS株式会社の取り組み

山口 謙太郎 水素事業推進部 海外水素サプライチェーングループマネージャー
ENEOS株式会社

カナデビア株式会社の取り組み

高山 夏美
脱炭素化事業本部 脱炭素化システムビジネスユニット 営業部 水素・PtG営業グループ
カナデビア株式会社

日揮ホールディングス株式会社の取り組み

高桑 宗也 サステナビリティ協創ユニット アシスタントプログラムマネージャー
日揮ホールディングス株式会社

Power System SDN BHDの取り組み

岡悠太 マネージングディレクター
IHI Power System SDN BHD

質疑応答



資源循環の促進

—使用済み自動車(ELV)とバッテリーの循環型経済への展開—

司会:
TBA

歓迎の挨拶

TBC, マレーシア天然資源環境サステナビリティ省

TBC, 環境省

基調講演

マレーシアの循環型EVバッテリー管理への道

TBC, マレーシア・グリーンテクノロジー・気候変動公社(MGTC)

TBC, 環境省

ASEANにおける自動車リサイクルの調査結果

TBC, 東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)

企業

1. 日本自動車リサイクル

TBC, 株式会社ツルオカ

2. バッテリーリサイクルの拡大: マレーシアの循環型未来に向けた産業イノベーション

TBC, Econili, Malaysia

3. ビデオメッセージ: Featuring Snapshots of Malaysia's Industry Practices

休憩

パネルディスカッション

持続可能な使用済み自動車(ELV)管理促進のためのマレーシアと日本による将来的な協力アイデアを探る

Moderator: ERIA/環境省

Pannelists: TBC

閉会

TBC



水・廃棄物汚染対策

司会:
TBA

開会挨拶

TBC, 環境省

Keynote: The Current Situation of Water Environment and Waste Management in Malaysia

TBC, マレーシア天然資源環境サステナビリティ省

第一部: アジアにおける水環境改善ビジネス展開等について

事業概要と日本技術の紹介

赤道 麻由 水・大気環境局 環境管理課 課長補佐
環境省

技術紹介

浄化槽の性能試験

小和瀬 壘 海外事業統括本部 アジア事業統括部 統括部長
株式会社ダイキアクシス

第一部: アジアにおける水環境改善ビジネス展開等について

ビジネスピッチ

水槽から海へ

小菌 大臣 研究員 株式会社イノカ/イノカアジア

マイクロプラスチックの分析・計測

メイファイ ジャウ シニアマーケティングマネージャー 島津マレーシア

無収水削減対策:

グローバルな水資源のレジリエンス強化の鍵

長谷川 浩市 取締役 上下水道部 部長 横浜ウォーター株式会社

第二部: 廃棄・汚染物質管理

イントロダクション

環境省

ビジネスピッチ

バイオマスボイラーによる蒸気供給サービス

金本 裕司 プロセスアンドプロダクトマネージャー アミタホールディングス株式会社

JFEエンジニアリンググループの環境ソリューション

深井 一 環境本部 開発センター長 JFEエンジニアリング株式会社

廃棄物から水素"ZERO WASTE"プロジェクト

仁谷 美喜 取締役 株式会社BIOTECHWORKS-H2

触媒式低温炭化技術による持続可能な廃棄物管理

リー ジアン タット マレーシア支部代表取締役 株式会社PNH/株式会社PNH Malaysia

再生可能な都市に向けて: 復元・再生・強化
ー 福島が持つ可能性を活かして
環境修復からネットゼロ社会へ ー

司会:
TBA

オープニングセッション

開会挨拶

- マレーシア天然資源環境サステナビリティ省
- 環境省

歓迎挨拶

- クアラルンプール市
- 在マレーシア日本国大使館
- マレーシア製造業者連盟 (FMM)

Photo Opportunity

プレナリーセッション

基調講演登壇者

- 環境省
- フクシマ県知事ビデオメッセージ
- 福島県大学生

パネルディスカッション登壇者

- ◆ モデレーター: 内田事務局長 (イクレイ日本)
- 福島県の大学生
- マレーシア大学生
- クアラルンプール市



PaSTI – 企業によるGHG算定・報告 –

司会:

トーマス真紀

プロジェクト副リーダー, OECC

開会挨拶

マレーシア天然資源環境サステナビリティ省

福田幸司

環境省地球環境局 国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官室

アジア太平洋特別担当官

セッション紹介

事業所レベル報告と企業レベル報告の相違

小林 邦彦 一般社団法人 海外環境協力センター(OECC)プロジェクト副リーダー

基調講演

マレーシアにおける気候変動政策

Mohd Hafdzuan Bin Adzmi Principal Assistant Secretary

マレーシア天然資源環境サステナビリティ省

事業所レベルの温室効果ガス排出量の測定・報告の強化と ASEAN における排出量取引制度 (ETS) への橋渡し

松木大成 世界銀行 上級気候変動専門官

パネルディスカッション

ガイディングプレゼンテーション**事業所レベル報告の重要性とカーボンプライシングとの連携**

小林 邦彦 OECC

ディスカッションセッション

テーマ:

サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量の MRV(測定・報告・検証)のベストプラクティス共有

モデレーター:

玉井 暁大 OECC シニアプロジェクトフェロー

パネリスト

- ・ 粕谷泰洋 独立行政法人国際協力機構 長期専門家
- ・ 鈴木慎太郎 Head of APAC Regional Business/ Managing Director
Zeroboard (Thailand) Co., Ltd.
- ・ TBC Malaysian Green Technology and Climate Change Corporation (MGTC)
- ・ TBC Petroliam Nasional Berhad (PETRONAS)

気候変動緩和(JCM)と適応

司会:
TBA

オープニング

TBC マレーシア天然資源環境サステナビリティ省
TBC 環境省

プレゼンテーション

マレーシアにおける気候変動

TBC マレーシア天然資源環境サステナビリティ省

ディスカッション 1: 脱炭素政策、技術およびサプライチェーン

TBC マレーシア天然資源環境サステナビリティ省
TBC 環境省

ビジネスソリューション1: 製造業

TBC マレーシア製造業者連盟(FMM)

ビジネスソリューション2: 二酸化炭素回収・貯留技術

IWANAGA Shuhei 三井物産株式会社 General Manager

ビジネスソリューション3: 廃棄物発電

大原隆信 JFEエンジニアリング株式会社 環境本部リサイクルビジネス推進事業部担当部長

ビジネスソリューション4: フルオロカーボン管理

TBC, Daikin Malaysia Co., Ltd

ディスカッション 2: 官民連携による気候変動適応

モデレーター: Gabriella Natasha 投資アナリスト Seneca Impact Advisors Limited

- ・ セッションの紹介
- ・ ガイディングクエスションに対する議論
- ・ Q&Aおよびクロージングコメント

ビジネスピッチ

◆ 関連トータルソリューションのご提案

山本 和矢
三菱電機株式会社 マネージャー

◆ 放射冷却を活用した気候変動への適応策

木嶋 優斗
スペーススクール株式会社 海外事業開発マネージャー

◆ 次世代洪水早期警報システム

田原 康博
株式会社地圏環境テクノロジー 代表取締役社長

◆ ガラスによる建物の省エネルギーの性能向上について

Ang David
AGC 株式会社 マネージャー スマートガラス

再生材の未来。廃棄物から高付加価値材への 日ASEAN企業連携

司会:

マレーシア天然資源環境サステナビリティ省(TBC)

オープニング

開会挨拶

平林国彦 事務総長 国際機関日本アセアンセンター

歓迎挨拶

マレーシア政府

講演

ファシリテーター: マレーシア政府 (廃棄物管理およびリサイクル政策担当)

基調講演

日本企業 (リサイクル企業)

TBC

日本企業 (予定)

TBC

マレーシア企業 (予定)

プラスチック廃棄物のリサイクル

Plustik – Recycle Plastic Waste (インドネシア企業, 2023年2024年グッドデザイン賞受賞)

質疑および会場との意見交換

総括



* プログラムは予告なく変更される場合がございます。

イベント情報

共催

日本国環境省、マレーシア天然資源・サステナビリティ省

後援

イクレイ日本
国際協力機構(JICA)マレーシア事務所
在日マレーシア大使館
在マレーシア日本国大使館
ジェトロ・クアラルンプール事務所
日本アセアンセンター
マレーシア・グリーンテクノロジー・気候変動公社(MGTC)
マレーシア製造業者連盟(FMM)
環境インフラ海外展開プラットフォーム(JPRSI)
海外環境協力センター(OECC)

協力

マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)

会場

クアラルンプール コンベンションセンター

Kuala Lumpur City Centre,
50088 Kuala Lumpur, Malaysia
+60 (3) 2333 2888
<https://www.klccconventioncentre.com/>



お 問 い 合 わ せ



イベント事務局
一般社団法人海外環境協力センター(OECC)

E-mail: mys-ew-sec@oecc.or.jp

イベントウェブサイト

<https://jprsi.go.jp/ew2025my/ja/index>